

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 17 日作成)

小委員会名	農村計画システム小委員会	主 査 名：中島熙八郎 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・都市及び同縁辺部の土地利用の空洞化・粗放化、過疎中山間地域における地域崩壊に対応するため、農村・都市を連続的に対象とする新たな計画システムの可能性の研究を進める。</p> <p>2002 年度：小委員会 2 回。うち 1 回は和歌山県田辺市の現地共同調査を並行して実施。委員の研究蓄積の交流・検討の中から「農村計画システム」に関する現代的課題を明らかにする小論をまとめた。</p> <p>2003 年度：小委員会 3 回。科研費 2 本申請（不採択）。うち 1 回は尼崎市、兵庫県養父町の現地共同調査を並行して実施。</p> <p>2004 年度：小委員会 2 回。科研費 3 本を申請（不採択）。うち 1 回は千葉ニュータウン周辺の現地共同調査を並行して実施。</p> <p>2005 年度：小委員会 2 回。うち 1 回は公開研究会（後述）と並行して実施。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 中島熙八郎(熊本県立大学)、地井昭夫(広島国際大学)、石丸紀興(同左)、三橋伸夫(宇都宮大学)、菊池成朋(九州大学)、山崎寿一(神戸大学)、神吉希世子(和歌山大学)、木下勇(千葉大学)、齋藤雪彦(東京農工大学)、楠本侑司(農村開発企画委員会)、内平隆之(神戸大学)、宮里明日香(東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2005 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 2002 年度の活動から「ダウンサイジング」、「農都共生」のキーワードが得られ、メンバーの分担による研究展開のため 2003、2004 両年度にわたって科研費を申請したが採択されず、所期の研究活動が十分に行えなかった。</p> <p>2. 一方、メンバー共同の現地調査は 2002、2003、2004 の 3 年度について実施でき、その中で、過疎地域、都市近郊地域における農都共生型計画システムのあり方についての知見を得ることが出来た。</p> <p>3. 上記の成果をまとめる点では不十分であったが、2005 年度の最終段階では、千葉大学において都市近郊の里山・里地の問題に関して、新たな計画システムのあり方に関する公開研究会を開催し、一定の方向性を確認することが出来た。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. メンバーが北関東から九州と広範囲にわたり、かつ各大学・研究機関において中堅以上の地位にあったこととあいまって、研究費が十分に獲得できなかったことから、年度を追うごとに活動参加者数が減少し、先細りの傾向があった。</p> <p>2. それを補うため、メールによる情報・意見交換に努めたが、やはり、具体的な研究活動との結びつきが希薄となるため、内容・頻度ともに低迷した。</p> <p>3. 研究成果のまとめについては、2002 年度にメンバーの既往関連研究成果の集約を行い、2005 年度については公開研究会に向けた資料づくりの中で一定のとりまとめが出来たが、出版等に結びつくまでには至らなかった。</p>